

常陸大宮市（茨城県常陸大宮市）

R4補正
R5当初

65

背景・課題

高齢化、担い手不足、条件不利地により、農業の衰退に拍車がかかるなか、持続可能な農業の推進として、令和3年度に常陸大宮市有機農業推進計画（計画期間：令和4年度から令和8年度）を策定。茨城県環境負荷低減事業活動の促進に関する基本計画における「特定区域」を設定し、その一部である鷹巣地区においては「有機農業を促進するための栽培管理に関する協定」を締結し、市内一部の地域に設定し、有機農業モデル団地として取組を加速化させている。

成果目標

有機JAS認証取得面積（水稻）

令和5年度：0ha → 令和10年度：15ha

有機JAS認証取得面積（野菜）

令和5年度：9.5ha → 令和10年度：12ha

有機農産物等の販売数量

令和5年度：118.4t → 令和10年度：337.4t

取組の内容

生産

- ・新たな栽培技術の実証、成果の普及
- ・新規有機農業者の育成や技術講習会の開催
- ・有機JAS認証取得支援

流通

- ・関連機関と連携した物流体制の構築
- ・県内他市町村と学校給食で使用する有機農産物の相互流通の推進
- ・加工品の製造・販売
- ・レストラン、旅館等での有機農産物の活用

消費

- ・学校給食における有機農産物の活用の促進
- ・有機農業をテーマにしたマルシェの開催
- ・消費者との交流会の開催



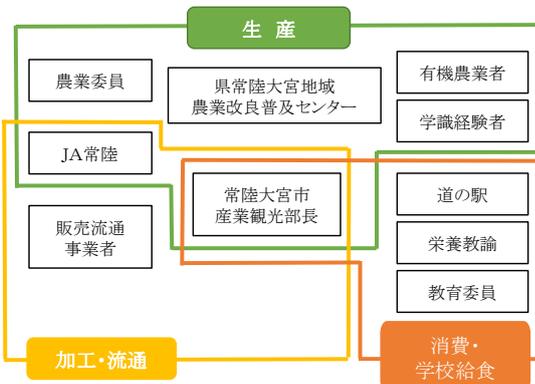
常陸大宮市

構成員

有機農業者、農業委員、JA常陸、販売流通事業者、学識経験者、道の駅、栄養教諭、教育委員、県常陸大宮地域農業改良普及センター、市

品目

水稻、野菜



常陸大宮市有機農業推進連絡協議会 (12名)

取組時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	[Activity bars spanning various months]											



有機ニンジン



有機ニンジンを使用したジェラート



有機ニンジンを使用した学校給食

普及に向けた取組

有機農業を推進するためには、生産された有機農産物の物流や販路確保が重要となる。有機農業に取り組む農業者の増加や面積を拡大することで有機農産物を安定して生産し、市場出荷による全国への流通を推進するほか、県内他市町村との相互流通を図る。

また、食育の面から有機農業や有機農産物についての理解を深める機会や、食を支えている農業を学ぶ機会を提供する。生産者と消費者それぞれの理解と連携を深めつつ、有機農産物の生産から消費までを地域全体で推進する取組を展開する。

問い合わせ先

茨城県常陸大宮市 産業観光部農林振興課農政グループ
TEL：0295-52-1111（代表）